

令和4年度
事業報告書

公益財団法人アイヌ民族文化財団

目 次

第1	概要	1
第2	諸会議の開催	
	評議員会・理事会	1
	各委員会	3
第3	事業実績	
	I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進	5
	II アイヌ語の振興	6
	III アイヌ文化の振興	11
	IV アイヌの伝統等に関する普及啓発	20
	V アイヌ文化の伝承者育成	27
	VI 民族共生象徴空間運営事業	28
第4	賛助会員の状況	39
第5	事業報告の附属明細書	39

第1 概要

当公益財団は、今日存立の危機にあるアイヌ語やアイヌ伝統文化の保存振興及びアイヌの人々やアイヌの伝統等に関する国民に対する知識の普及啓発を通じ、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を図り、もって全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的としており、アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進、アイヌ語の振興、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する普及啓発及びアイヌ文化の伝承者育成に係る事業、民族共生象徴空間の管理等に係る事業を実施した。

第2 諸会議の開催

1 評議員会

区分	開催月日・場所	決議事項等
第1回 定 時	6月24日(金) ACU-A札幌	報告事項 報告第1号 令和3年度事業報告について 決議事項 議案第1号 令和3年度決算報告書承認について
第1回 臨 時	11月28日(月) ACU-A札幌	報告事項 報告第1号 令和4年度事業の進捗状況について 報告第2号 令和5年度補助事業に係る予算要望について 決議事項 議案第1号 定款の一部変更について(特別決議) 議案第2号 評議員、役員及び委員の報酬、謝金及び費用弁償に関する規程の一部改正について 議案第3号 評議員選任について
第2回 臨 時	3月15日(水) ACU-A札幌	報告事項 報告第1号 民族共生象徴空間の運営状況について 決議事項 議案第1号 令和4年度収支補正予算書承認について 議案第2号 令和5年度事業計画書承認について 議案第3号 令和5年度収支予算書承認について 議案第4号 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第5号 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第23条第1項に基づく事業計画書及び収支予算書の認可申請について 議案第6号 評議員選任について

2 理事会

区分	開催月日・場所	決議事項等
第1回 定 例	6月8日(水) ACU-A札幌	報告事項 報告第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について 決議事項 議案第1号 令和3年度事業報告書承認について 議案第2号 令和3年度決算報告書承認について 議案第3号 定時評議員会開催について
第1回 臨 時	10月27日(木) ホテル札幌ガーデンパレス	報告事項 報告第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について 報告第2号 令和4年度事業の進捗状況について 報告第3号 令和5年度補助事業に係る予算要望について 決議事項 議案第1号 公益目的事業の変更認定申請について 議案第2号 臨時評議員会の開催について

区分	開催月日・場所	決議事項等
第2回 定例	3月6日(月) ACU-A札幌	<p>報告事項 報告第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について</p> <p>報告第2号 民族共生象徴空間の運営状況について</p> <p>決議事項 議案第1号 令和4年度収支補正予算について</p> <p>議案第2号 令和5年度事業運営方針について</p> <p>議案第3号 令和5年度事業計画書について</p> <p>議案第4号 令和5年度収支予算について</p> <p>議案第5号 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて</p> <p>議案第6号 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第23条第1項に基づく事業計画書及び収支予算書の認可申請について</p> <p>議案第7号 公益目的事業の変更認定申請等について</p> <p>議案第8号 臨時評議員会の開催について</p>
第2回 臨時	3月29日(水) 書面決議	<p>提案事項 提案第1号 重要な使用人の選任及び解任の件について</p> <p>提案第2号 役員賠償責任保険の加入の件について</p>

3 常任理事会

区分	開催月日・場所	決議事項等
第1回	5月25日(水) しらおい経済センター	<p>協議事項 第1号 令和3年度事業報告書承認の件</p> <p>第2号 令和3年度決算報告書承認の件</p> <p>第3号 定時評議員会招集の件</p>
第2回	10月19日(水) しらおい経済センター	<p>協議事項 第1号 令和4年度事業の進捗状況について</p> <p>第2号 令和5年度補助事業に係る予算要望について</p> <p>第3号 公益目的事業の変更認定申請について</p> <p>第4号 臨時評議員会の開催について</p>
第3回	2月15日(水) しらおい経済センター	<p>協議事項 第1号 民族共生象徴空間の運営状況について</p> <p>第2号 令和4年度収支補正予算について</p> <p>第3号 令和5年度事業運営方針について</p> <p>第4号 令和5年度事業計画書について</p> <p>第5号 令和5年度収支予算書について</p> <p>第6号 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて</p> <p>第7号 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第23条第1項に基づく事業計画書及び収支予算書の認可申請について</p> <p>第8号 公益目的事業の変更認定申請等について</p> <p>第9号 臨時評議員会の開催について</p>

4 事業運営委員会

○ 委 員

職 名	氏 名
委員長	加藤 忠
副委員長	中村 吉雄
委 員	宇佐 照代、宇治 義之、小川 哲也、菊池 基弘、 城石 梨奈、菅原 勝吉、戸ノ崎郁美、持田 誠

○ 開催状況

区 分	開催月日・場所	議 事 等
第1回	6月9日(木) 北海道中小企業会館 会議室A・B	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 副委員長の指名について (2) 令和5年度アイヌ語ラジオ講座講師の選考について (3) 令和4年度アイヌ語弁論大会審査委員の選考について (4) " 幼児向け絵本(原作)募集に係る選考委員の選考について (5) 「令和3年度アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告」登載審査委員について (6) 令和4年度アイヌ生活文化再現マニュアル企画委員の選考について (7) " アイヌ関係資料評価委員の選考について (8) " アイヌ工芸品展中長期計画策定委員の選考について (9) " アイヌ工芸作品コンテスト審査委員の選考について (10) " アイヌ文化賞等表彰者選考委員の選考について (11) 各種事業に係る委員候補者について (12) 令和4年度青少年国際文化交流研修事業応募者選考要領について (13) 事業検証評価について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度各種助成事業の申請・採択状況について (2) " 各種アイヌ語講座及び実践上級講座実施状況について (3) " 伝承者育成事業実施状況について
第2回	10月31日(月) 北海道中小企業会館 会議室A・B	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度青少年国際文化交流研修事業応募者選考について (2) 令和5年度各種助成要綱について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度事業進捗状況について (2) 令和5年度概算要望について (3) アイヌ語教育基盤整備事業について (4) 令和4年度実践上級講座(伝統文化指導者育成(儀式))受講者一覧
第3回	2月10日(金) 北海道中小企業会館 会議室A・B	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度事業実施要領(案)について (2) 令和4年度実践上級講座(儀礼)について (3) 令和5年度アイヌ文化フェスティバル・普及啓発講演会に係る出演候補者について (4) 令和5年度助成事業審査委員候補者について (5) 令和5年度アイヌ工芸作品コンテスト審査委員について (6) 令和5年度アイヌ文化普及啓発セミナー開催日程・会場及び講師について (7) 令和5年度アイヌ語指導者育成事業の講師について

		(8) 令和5年度アイヌ語動画講座企画編集委員 について (9) 令和5年度アイヌ語弁論大会審査委員について (10) 令和5年度幼児向け絵本（原作）募集に係る選考委員について (11) 令和5年度各種事業に係る委員候補者について 報告事項 (1) アイヌ語教育基盤整備事業について
--	--	--

5 助成事業審査委員会

令和4年度助成事業

○ 委 員

任期（R4.3.8 ～ R5.1.31）

職 名	氏 名
委員長	菅原 勝吉
副委員長	出利葉浩司
委 員	五十嵐聡美、斉藤 大朋、長野 環、藤原 顕達

○ 開催状況

区 分	開催月日・場所	議 事 等
第1回	3月28日（月） 29日（火） 中小企業会館 会議室A・B	令和4年度各種助成事業（1次）に係る審査・選考 ①伝統工芸複製 ②国内文化交流 ③国際文化交流 ④風俗慣習に関する伝承、 ⑤出版 ⑥伝統工芸展示公開 ⑦研究
第2回	6月9日（木） ～6月21日（火） 書面審査	令和4年度各種助成事業（2次）に係る審査・選考 ① 伝統工芸複製助成
第3回	7月28日（木） ～8月8日（月） 書面審査	令和4年度各種助成事業（3次）に係る審査・選考 ①国際文化交流

令和5年度助成事業

○ 委 員

任期（R5.3.22 ～ R6.1.31）

職 名	氏 名
委員長	菅原 勝吉
副委員長	五十嵐聡美
委 員	木村寿美子、斉藤 大朋、添田 雄二、長野 環、藤原 顕達

○ 開催状況

区 分	開催月日・場所	議 事 等
第1回	3月29日（水） 30日（木） 中小企業会館 会議室A・B	令和5年度各種助成事業（1次）に係る審査・選考 ①国内文化交流 ②伝統工芸複製 ③国際文化交流 ④伝統工芸展示公開 ⑤風俗慣習に関する伝承、⑥出版 ⑦研究

第3 事業実績

I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

① 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。

(単位：千円)

区 分	予 算 額		申 請 実 績		交 付 実 績		
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	
研究助成	一般	4	4,600	7	9,053	5	4,077
	奨励	2	600	0	0	0	0
出版助成		8	9,600	1	1,480	1	1,480
合 計		14	14,800	8	10,533	6	5,557

② 研究成果集

- ・ 登載審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 員	小川 哲也	アイヌ民族文化財団事業運営委員
委 員	斉藤 大朋	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員
委 員	菅原 勝吉	アイヌ民族文化財団助成事業審査委員長
委 員	出利葉浩司	アイヌ民族文化財団事業運営委員
委 員	持田 誠	アイヌ民族文化財団事業運営委員

- ・ 審査（在宅審査）

審査期間	審査対象の成果品	摘 要
7月29日（金）～9月16日（金）	1件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅審査を行った。

- ・ 研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業 研究報告第22号	3月	900部	道内市町村教育委員会、主な公共図書館、大学付属図書館、博物館、北海道アイヌ協会等のアイヌ関係団体、研究機関

II アイヌ語の振興

1 アイヌ語教育事業

① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

(7) 講師一覧

氏名	摘要
北原モコットゥナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究院教授
中川 裕	千葉大学名誉教授
八谷 麻衣	令和3年度アイヌ語指導者育成事業講師

アイヌ民族文化財団職員（民族共生象徴空間運営本部）

氏名	摘要
中井 貴規	国立アイヌ民族博物館研究学芸部教育普及室研究主査
山丸 賢雄	文化振興部体験教育課主事

(イ) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
6月29日 (水)	財団会議室 [リモート併用]	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度アイヌ語指導者育成事業実施に係る日程及び会場について 令和4・5年度アイヌ語指導者育成事業第13期受講生について 令和4年度第1回スクーリングのカリキュラムについて インターン・ゲストティーチャーについて その他
10月15日 (土)	北農健保会館	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第2回スクーリングのカリキュラムについて
11月19日 (土)	北農健保会館	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第3回スクーリングのカリキュラムについて
2月17日 (金)	財団会議室 [リモート会議]	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度アイヌ語指導者育成事業実施に係る総括等について 令和5年度フォローアップ実施に係る日程及び会場について 令和5年度スクーリング実施に係る日程及び会場について 令和5年度添削指導実施に係る日程及び指導方針について 令和5年度ゲストティーチャーについて

(ウ) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
10月14日（金）～10月16日（日）	北農健保会館	一ノ関清美 岡本 朋也 川上 夏希 西山 涼
11月18日（金）～11月20日（日）	北農健保会館	平村 太幹 伏木 康弘 幌村 司 結城 泰
12月16日（金）～12月18日（日）	北農健保会館	吉村真美子

(イ) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
11月4日(金)～11月6日(日)	北農健保会館 北海道博物館	小川 早苗 川上 恵 葛野 大喜 工藤 小夜 荒田このみ 上河 彩 川上さやか 瀧口 夕美 早坂 駿 山道ヒビキ

② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	14	4月23日(土)～3月4日(土)	12
阿寒	藤村 久和	4	11月24日(木)～3月3日(金)	16
帯広	安藤日出通	4	8月3日(水)～11月30日(水)	16
白老	大須賀るえ子	4	6月5日(日)～10月2日(日)	16
白糠	藤村 久和	5	6月9日(木)～11月12日(土)	16
平取	関根 健司	5	6月24日(金)～2月8日(水)	16
三石	藤村 久和	5	6月3日(金)～10月1日(土)	16

③ 初級講座

(7) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及びアイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	瀧口 夕美	5家族10名	4月9日(土)～3月25日(土)	23

(イ) 入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	成田 英敏	23名 (累計280名)	5月11日(水)～3月8日(水)	20
札幌	阿部 一	10名 (累計84名)	7月2日(土)～11月26日(土)	20
白老	山丸 賢雄	33名 (累計221名)	6月10日(金)～12月23日(金)	19
釧路	奥田 幸子	30名 (累計175名)	6月20日(月)～12月12日(月)	20
平取	木村 梨乃	25名 (累計205名)	7月5日(火)～12月27日(火)	20
阿寒	下倉 絵美	9名 (累計52名)	6月6日(月)～2月25日(土)	20

④ アイヌ語教育基盤整備

アイヌ語の教育の基盤整備として、アイヌ語の効果的・効率的な教育法、学習法などの確立を目指した。

(7) 検討委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	中川 裕	千葉大学名誉教授
委員	北原モコトウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐々木博司	元江別市立対雁小学校教諭
委員	瀧口 夕美	令和3年度アイヌ語初級講座（親と子のアイヌ語学習）講師
委員	早坂 ユカ	令和2年度実践上級講座口承文芸伝承者（語り部）育成伝承補助者
委員	本田 優子	札幌大学教授

アイヌ民族文化財団職員（民族共生象徴空間運営本部）

役職名	氏名	摘要
委員	小林 美紀	国立アイヌ民族博物館研究学芸部展示企画室研究員
委員	深澤 美香	国立アイヌ民族博物館研究学芸部研究交流室研究員
委員	山丸 賢雄	文化振興部体験教育課主事

(i) 検討委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月16日（木）	財団会議室 （リモート併用）	<ul style="list-style-type: none"> アイヌ語関連事業に係る今後の取組について アイヌ語オンライン講座の実施について 今後のスケジュールについて
7月28日（木）	財団会議室 （リモート会議）	<ul style="list-style-type: none"> アイヌ語関連事業に係る今後の取組について（前回の続き） アイヌ語オンライン講座の実施について 今後のスケジュールについて
12月13日（火）	財団会議室 （リモート会議）	<ul style="list-style-type: none"> アイヌ語オンライン講座の実施状況について 報告書の内容について
2月 8日（水）	財団会議室 （リモート併用）	アイヌ語教育基盤整備事業 検討委員会報告書（事務局案）について

(ウ) アイヌ語オンライン講座

今後のアイヌ語関連事業の拡充や新設に向けた検証材料とするため、試行的にアイヌ語オンライン講座を開催した。

講師	受講者数	開催期間	開催時間帯	開催回数
関根 健司	10	10月16日（日）～11月20日（日）	19:00～20:30	5

2 アイヌ語普及事業

① アイヌ語発信講座

(7) ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をSTVラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

(a) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
STVラジオ	毎週日曜日あさ7:00～7:15	下倉 絵美

(b) テキスト

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
令和4年度Vol.2 (7月～9月放送分)	6月	4,000	各アイヌ協会、博物館、図書館、各アイヌ語教室、アイヌ語関係者など
令和4年度Vol.3 (10月～12月放送分)	9月	4,000	
令和4年度Vol.4 (1月～3月放送分)	12月	4,000	
令和5年度Vol.1 (4月～6月放送分)	3月	3,300	

(イ) 動画講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をインターネットによる動画配信を行い、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

(a) 配信内容

配信動画	配信方法
年間23本制作	動画共有サービス YouTube

(b) 企画編集委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	中川 裕	千葉大学名誉教授
委員	北原モコトウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究院教授
委員	関根 健司	平取町教育委員会生涯学習課アイヌ文化学習係長

アイヌ民族文化財団職員（民族共生象徴空間運営本部）

委員	荒田このみ	文化振興部体験教育課主任
委員	山丸 賢雄	文化振興部体験教育課主事

(c) 企画編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
4月19日（火）	財団会議室 （リモート会議）	・令和4年度の進め方について（令和3年度を踏まえて） ・令和4年度の動画内容について
5月31日（火）	財団会議室 （リモート会議）	・令和4年度の進め方について ・令和4年度の動画内容について ・相互チェックの担当について

② 弁論大会

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

(7) 開催日時

11月3日（木・祝）13:00～16:00

(イ) 開催場所

北ガス文化ホール／千歳市民文化センター[中ホール]（北海道千歳市）

(ウ) 出場者

募集期間 8月1日（月）～8月31日（水）

区 分	発表内容	出場者数	受賞者数
子供の部	自由	[9組14名]	3
大人の部	口承文芸部門	[8組 8名]	3
	弁論部門	[2組 2名]	0
口演の部	自由	[1組 1名]	—

(エ) アイヌ語弁論大会審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	高木喜久恵	アイヌ文化伝承シノッチャの会会長
委 員	大野 徹人	様似町教育委員会生涯学習課社会教育係学芸員補
委 員	菅原 勝吉	新ひだかアイヌ協会民族文化専門員
委 員	成田 英敏	令和4年度アイヌ語初級講座（入門講座）講師
委 員	山田 良子	千歳アイヌ協会副会長

(オ) 受賞者一覧

区 分	発表内容	受 賞 者
最優秀賞	子どもの部	自由 北澤 たみ（京都府）
	大人の部	口承文芸部門 飯塚 潔子（平取町）
		弁論部門
優 秀 賞	子どもの部	自由 土屋 榛名（札幌市） 東儀 舞（東京都）
	大人の部	口承文芸部門 平村 晴美（平取町） 丸岡 弓彦（平取町）
		弁論部門

(カ) 成果品

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
出場者募集ポスター	7月	900	各アイヌ協会、博物館、図書館、各アイヌ語教室、アイヌ語関係者など
出場者募集チラシ	7月	3,000	
来場者募集チラシ	10月	3,000	
プ ロ グ ラ ム	11月	250	来場者へ配布
報 告 用 動 画	2月	—	財団HPにて公開

Ⅲ アイヌ文化の振興

1 アイヌ文化伝承再生事業

① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがあり、その製作技術や儀礼などが失われつつあることから、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
活字マニュアル 身を護るもの（平取編）	3月	320	博物館、図書館、各アイヌ協会、アイヌ関係団体など
映像マニュアル 料理（浦河）	3月	350	
アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol.7	3月	1,000	

② 実践上級講座

(7) 口承文芸伝承者（語り部）育成

ユカラ（英雄叙事詩）、カムイユカラ（神々の物語）、ウエペケレ（昔話）などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
平 取	木幡サチ子	5	6月 7日（火）～11月22日（火）	15
むかわ	大森きよ子	5	6月 2日（木）～ 9月15日（木）	15

(4) 伝統文化（木彫・刺繍等）指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講 師	受講者数	開催期間	開催回数
東 京	刺繍	澤 節子	7	4月24日（日）～ 3月26日（日）	12
	編物	弓野 恵子	8	6月 5日（日）～ 3月 5日（日）	9
	音楽	千葉 伸彦	10	6月 5日（日）～ 3月 5日（日）	9
札 幌	刺繍	飯田 米子	8	7月 6日（水）～ 9月16日（金）	12
札 幌	木彫	小川 俊和	9	7月15日（金）～ 8月27日（土）	12
札 幌	音楽	川上 恵	12	6月25日（土）～12月 3日（土）	12
札 幌	編物	長縄由加利	7	7月 5日（火）～ 9月20日（火）	12
札 幌	刺繍	藤岡 良子	9	7月 8日（金）～12月23日（金）	12
阿 寒	編物	堀 悦子	7	11月29日（火）～ 2月10日（金）	12
旭 川	木彫	藤戸 幸夫	6	7月 9日（土）～10月16日（日）	12
旭 川	編物	堀 悦子	5	6月21日（火）～ 9月16日（金）	12
浦 幌	音楽	安東 春江	4	6月22日（水）～ 8月 3日（水）	12
浦 幌	刺繍	廣川 和子	7	9月28日（水）～ 1月11日（水）	12
浦 幌	舞踊	斎藤 幸生	8	6月15日（水）～ 7月 7日（木）	12
長万部	刺繍	桑原 由恵	8	6月22日（水）～ 1月26日（木）	12
帯 広	舞踊	酒井奈々子	15	7月10日（日）～ 2月26日（日）	12
帯 広	編物	吉根とみ子	10	8月27日（土）～11月26日（土）	12

開催地区	講座種別	講師	受講者数	開催期間	開催回数
釧路	木彫	伊藤 夕美	8	10月4日(火)～11月18日(金)	12
標津	編物	竹内 明美	13	6月17日(金)～10月22日(土)	12
白老	編物	山崎シマ子	9	7月14日(木)～2月23日(木)	12
白老	刺繍	吉国 幸子	4	9月9日(金)～2月3日(金)	12
白糠	刺繍	桃井 芳子	4	12月1日(木)～1月20日(金)	12
伊達	刺繍	岡田 育子	13	10月4日(火)～11月22日(火)	12
鶴居	木彫	八重 清敏	5	9月5日(月)～9月21日(水)	12
洞爺湖	刺繍	芳賀美津枝	5	6月9日(木)～12月22日(木)	12
豊浦	刺繍	芳賀美津枝	5	7月10日(日)～12月5日(月)	12
平取	刺繍	貝澤美和子	6	7月20日(水)～12月14日(水)	12
本別	編物	床 みどり	6	10月17日(月)～11月9日(水)	12
本別	刺繍	山本 栄子	6	6月23日(木)～9月8日(木)	12
幕別	刺繍	竹内 明美	12	6月11日(土)～10月9日(日)	12
むかわ	刺繍	新田 増美	8	9月22日(木)～12月14日(水)	12
芽室	木彫	吉根 憲一	13	7月10日(日)～2月26日(日)	12
八雲	刺繍	中田れい子	11	6月24日(金)～1月27日(金)	12
八雲	舞踊	小崎明日香	10	6月12日(日)～11月13日(日)	12
財団	儀式	平村 博	8	11月19日(土)～2月12日(日)	10

(ウ) 成果発表会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
19	9,900	40	11,539	38	10,892

※承認40件のうち2件中止

④ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
5	1,250	1	180	1	146

2 アイヌ文化交流事業

① アイヌ文化交流事業

(7) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解の促進を図った。

(単位：千円)

区 分	予 算 額		申 請 実 績		交 付 実 績	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
道内実施	30	30,000	75	49,343	69	36,696
道外実施	12	18,000	2	2,878	2	2,654
合 計	42	48,000	77	52,221	71	39,350

※承認75件のうち6件中止

(イ) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(a) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

(b) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

(単位：千円)

区 分	予 算 額		申 請 実 績		交 付 実 績	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
派遣事業	3	2,800	3	3,607	2	1,441
招聘事業	2	800	0	0	0	0
合 計	5	3,600	3	3,607	2	1,441

※承認3件のうち1件中止

② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

(7) 青少年国際文化交流研修

- ・ 募集期間 7月15日（金）～9月30日（金）（募集期間延長後）
- ・ 応募者数 32名

- ・事前研修（研修生10名 事務局3名 協力者2名）

実施日	場 所
12月10日（土）～11日（日）	国立日高少年自然の家

- ・海外研修（研修生10名 事務局3名 協力者2名）

実施日	実施地域
2月20日（月）～2月26日（日）	ニュージーランド （ウェリントン、ロトルア、ムルパラ）

- ・事後研修（研修生9名 事務局2名 協力者1名）

実施日	場 所
3月18日（土）	アイヌ民族文化財団会議室

(イ) フォローアップ研修

研修に参加した修了生を対象として、アイヌ文化の継承者として育てていくため、修了生で構成する「アイヌ若者委員会」が主催する行事等への参加に要する経費を助成した。

実施日	主催・題材	備 考
6月 6日（月）	アイヌ若者委員会総会通知及び準備作業	
6月26日（日）	令和4年度アイヌ若者委員会総会	
12月24日（土）～25日（日）	アイヌ若者委員会「ポンニタイ」研修会	
3月18日（土）	アイヌ若者委員会「ポンニタイ」広報活動	

3 アイヌ文化普及事業

① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予 算 額		申請実績		交付実績	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
4	2,000	4	1,855	3	1,272

※新型コロナウイルス感染症の影響により承認4件のうち1件中止

② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け（パッケージ）派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

(ア) 委 嘱 255名

(イ) 派遣実績 351団体 延652人

(学校派遣：小学校174件、中学校27件、高校23件)

③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀式用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普

及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

(7) 工芸品展企画委員

(a) 企画委員名簿

役職名	氏名	摘要
委員長	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	宇仁 義和	東京農業大学生物産業学部教授
委員	北原モコトウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター招へい教員
委員	戸潤 幹夫	元石川県立歴史博物館学芸主幹
委員	本田 優子	札幌大学教授
委員	渡部 裕	元北海道立北方民族博物館学芸主幹
委員	菅原 慶郎	小樽市総合博物館主査
委員	山本 亜生	小樽市総合博物館主査
委員	大井 理恵	石川県立歴史博物館学芸主査
委員	吉田 朋生	石川県立歴史博物館学芸員

(b) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
6月3日(金)	中小企業会館会議室	出品資料の選定 展示および図録構成 今後のスケジュールについて

(i) 展覧会

(a) 工芸品展名称

「アトゥイー海と奏でるアイヌ文化」

(b) 出品協力先等

網走市立郷土博物館、石川県立図書館、糸魚川市教育委員会、加賀市教育委員会、金沢市立玉川図書館、釧路市立博物館、国立アイヌ民族博物館、市立函館博物館、苫小牧市美術博物館、羽咋市歴史民俗資料館、函館市中央図書館、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、北海道大学附属図書館、北海道立北方民族博物館、北海道博物館、北海道立文学館、余市町教育委員会、輪島市教育委員会、早稲田大学會津八一記念博物館、個人

(c) 道外会場

- ・会 期 9月23日(金)～11月13日(日)
- ・会 場 石川県立歴史博物館(石川県金沢市)
- ・来場者数 5,889名
- ・関連事業

区分	内容等
展示解説	開催日 9月23日(金) 会場 石川県立歴史博物館特別展会場 解説 山崎幸治(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授) 来場者数 19名

区 分	内 容 等
ワークショップ 「アザラシじょうず に獲れるか？」	開 催 日 ①9月24日（土）②10月29日（土） 会 場 石川県立歴史博物館 ウェルカムラウンジ 来場者数 ①30名②12名
アイヌ伝統舞踊公演 「白糠のフンペリムセ （クジラの踊り）」	開 催 日 10月1日（土） 会 場 ①石川県立歴史博物館ワークショップルーム ②石川県立図書館だんだん広場 出 演 白糠アイヌ文化保存会 来場者数 ①30名②110名
記念講演会 「アイヌ文化がつなぐ 世界—過去・現在・ 未来—」	開 催 日 10月2日（日） 会 場 石川県立歴史博物館ワークショップルーム 講 師 本田優子（札幌大学教授） 来場者数 36名
工芸ワークショップ 「アイヌ刺繍でオリ ジナルTシャツづ くり」	開 催 日 10月29日（土）（午前の部・午後の部） 会 場 石川県立歴史博物館ワークショップルーム 講 師 宇佐照代・宇佐智美 参加者数 各10名
石川の歴史遺産セ ミナー 「はじめてふれる アイヌ文化」	開 催 日 11月13日（日） 会 場 石川県立歴史博物館ワークショップルーム 講 師 ①「アイヌの海神信仰と神話」 北原モコットウナシ （北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授） ②「アイヌ工芸の過去・現在・未来」 山崎幸治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授） 来場者数 ①48名②41名

(d) 道内会場

- ・会 期 12月3日（土）～ 3月 5日（日）
- ・会 場 小樽市総合博物館（北海道小樽市）
- ・来場者数 11,403名
- ・関連事業

区 分	内 容 等
アイヌ伝統舞踊公演 「白糠のフンペリムセ （クジラの踊り）」	開 催 日 12月18日（日） 会 場 小樽市総合博物館本館しづかホール 出 演 白糠アイヌ文化保存会 来場者数 30名
ワークショップ 「アザラシ捕獲 大作戦！！」	開 催 日 1月7日（土） 会 場 小樽市総合博物館本館研修室 来場者数 15名

(ウ) 常設展示

アイヌ文化交流センターに財団所蔵資料を常設展示

(イ) 現代アイヌ工芸品の展示

- ・「床ヌブリ展—木に宿るカムイたち—」（札幌グランドホテル）
10月3日（月）～10月31日（月）
- ・北海道庁本庁舎1階、胆振総合振興局、東京都人権プラザ

(オ) 貸出

所蔵資料の貸出22件、所蔵写真の貸出22件、学習トランク17件

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内 容	来場者数
6月11日（土） 青森県青森市 リンクモア平安閣 市民ホール	◇基調講演 大島 直行 （札幌医科大学客員教授） 「アイヌ文化と縄文文化の関係を考える」 ◇口承文芸 高橋比登美 ◇音楽公演 居壁太・星野工 ◇古式舞踊 札幌ウポポ保存会	639
8月20日（土） 福井県福井市 フェニックス・プラザ	◇基調講演 吉原 秀喜 （アイヌ施策推進課IWOR構想担当学芸員） 「アイヌ文化「復興」の今日的諸相とこれから～北海道、 平取二風谷地域を中心に～」 ◇口承文芸 なし ◇音楽公演 ハウハウケ（千葉伸彦） ◇古式舞踊 白老民族芸能保存会	396
11月12日（土） 東京都千代田区 有楽町よみうりホール	◇口承文芸 豊川 容子 ◇音楽公演 阿寒アイヌ民族文化保存会 ◇古式舞踊 阿寒アイヌ民族文化保存会 ◇特別出演 ペナンペ・パナンペ ◇木彫実演 荒木繁 ◇刺繍実演 山本みい子	610
12月24日（土） 北海道札幌市 札幌市教育文化会館	◇基調講演 原田公久枝 （アイヌ文化活動アドバイザー/ファンベシスターズ） 「共生ってなんだろう」 ◇口承文芸 ankes（木村梨乃・新町征也） ◇音楽公演 アイヌ アート プロジェクト ◇古式舞踊 様似民族文化保存会 ◇木彫実演 吉村政彦 ◇刺繍実演 石井美香	624

4 アイヌ文化活動表彰事業

① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

(ア) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	八重 清敏	伝統工芸家
副委員長	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長

委員	貝澤 和明	(公社)北海道アイヌ協会事務局長
委員	若園雄志郎	宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科准教授
委員	日高 青志	地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究事業部副部長
委員	藤谷るみ子	伝統工芸家

(イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
8月18日(木)	かでの2・7 110会議室及び 展示ホール	158点	委員長の互選 一次審査及び二次審査 受賞作品決定

(ウ) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
展示	8月19日(金)～8月22日(月)	かでの2・7展示ホール	612
巡回展示	10月21日(金)～10月23日(日)	コーチャンフォー釧路文化ホール	311
巡回展示	11月11日(金)～11月16日(水)	有楽町朝日ギャラリー	272

※表彰式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部門	作品名
優秀賞	貝澤美和子	北海道平取町	刺繍	エムシアッ/刀さげひも
	奥村キヨ子	北海道七飯町	刺繍	木綿衣 ルウンペ
	西山 涼	北海道平取町	木工	イタ/盆
入選	川上ききょう	北海道平取町	一般	ショルダーバッグ
	吉田 信男	北海道白老町	一般	手付ニマ
	平村 太幹	北海道平取町	木工	イタ/盆
奨励賞	長谷川順子	北海道苫小牧市	刺繍	前掛け(マイダリ)
	川上ききょう	北海道平取町	刺繍	エムシアッ
	氏家 恵子	北海道音更町	一般	アペ/火
	友田 恵子	北海道七飯町	刺繍	木綿衣 ルウンペ
	光野 智子	北海道札幌市	刺繍	チカルカルペ
	門脇 賢司	北海道札幌市	木工	マキリ/小刀
	荒木 礼美	神奈川県藤沢市	刺繍	色裂置紋木綿衣(複製)
	山本みい子	北海道幕別町	刺繍	マタンブシ
	相澤 道子	北海道帯広市	一般	カパラミプのマット
佐藤登紀子	北海道札幌市	一般	カパラミプ刺繍	

② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

(7) 被表彰者推薦期間

7月11日(月)～9月22日(木) 当日必着

(イ) アイヌ文化賞等表彰者選考委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員	磯部恵津子	白糠アイヌ文化保存会会長
委員	大島 直行	札幌医科大学客員教授
委員	小川 悠治	標津アイヌ協会会長
委員	中村 吉雄	公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長
委員	堀 悦子	アイヌ文化伝承者
委員	本田 優子	札幌大学教授

(ウ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
11月8日（火）	北海道中小企業会館 会議室A	委員長の互選 アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

(エ) 贈呈式

アイヌ文化フェスティバル（札幌会場）と同時開催

(オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	年齢	所在地	備考
文化賞	熊谷 カネ	80	北海道様似町	
文化奨励賞(個人)	鯉屋 好美	73	北海道釧路市	
	洲崎 春男	74	北海道平取町	
	高野 啓子	69	北海道平取町	
	新田 増美	71	北海道むかわ町	
	藤岡 良子	77	北海道札幌市	
	宮野 一子	72	北海道新冠町	
文化奨励賞(団体)	阿寒口琴の会	—	北海道釧路市	

IV アイヌの伝統等に関する普及啓発

1 普及啓発促進事業

① 広報情報発信

(7) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種 別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版「令和4年度アイヌ民族文化財団のあらし」	日本語版	8月	3,000	図書館、博物館、アイヌ関係団体のほか、主催事業への来場者など
	英語版	2月	1,000	
文化情報版「アイヌ民族～歴史と文化」	日本語版	10月	15,000	
	英語版	2月	5,000	

(4) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設している。

(a) アクセス数

272,812件（3月31日現在 対前年比 16,235件増）

(b) 追加掲載

動画掲載『アイヌ文化伝承活動アーカイブス 技Vol.6』

動画及び解説書掲載『アイヌ生活文化再現マニュアル 川の魚の料理 平取地方』

(c) ページ改修

サイドメニューの追加や各ページの再配置等により閲覧性の向上を図った。

② 児童生徒向け副教材の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図った。

(7) 副教材作成・配布

種 別	作成時期	作成数	配 布 先
小学生用	1月	68,000	全国の公立小中学校（道内小学校4学年児童および中学校2学年生徒の全員）、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、図書館
中学生用		60,000	
教師用指導書		37,000	

(4) 新たな副教材作成検討委員会

検討委員会において新たな副教材のあり方や内容について検討した。

(a) 検討委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター招へい教員
副委員長	加藤 忠	前北海道アイヌ協会理事長
委 員	石田 勝也	札幌市立大学デザイン学部講師

委員	貝澤 守	二風谷民芸組合代表理事
委員	鹿糠 昌弘	美唄市立美唄中学校教諭
委員	北原モコトウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	佐々木史郎	国立アイヌ民族博物館長
委員	千葉 拓士	札幌市立新札幌わかば小学校教諭
委員	中川 裕	千葉大学名誉教授
委員	中村 吉雄	北海道アイヌ協会副理事長
委員	松本あずさ	藤女子大学准教授
委員	山本 命	松浦武四郎記念館長

(b) 協力員一覧

氏名	摘要
田村 将人	国立アイヌ民族博物館資料情報室長
関口 由彦	国立アイヌ民族博物館教育普及室研究主査
深澤 美香	国立アイヌ民族博物館研究交流室研究員

(c) 検討委員会

開催日	開催場所	協議事項等
8月5日（金）	北海道中小企業会館（リモート併用）	現状把握、課題の整理、今後の議論の進め方について
10月3日（月）	北海道中小企業会館（リモート併用）	副教材の内容について
1月25日（水）	北海道中小企業会館（リモート併用）	副教材の内容について

③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を絵本にして北海道内の保育園などに配布することにより、アイヌ文化についての普及啓発を図った。

(7) 募集期間 7月1日（金）～9月26日（月）

(イ) 応募点数 13点

(ウ) 幼児向け絵本（原作）募集選考委員

役職名	氏名	摘要
委員	秋山 里架	文化振興部体験教育課主任
委員	関根 真紀	アイヌ工芸家
委員	高木 真美	釧路短期大学専任講師
委員	早坂 ユカ	令和2年度実践上級講座口承文芸伝承者（語り部）育成伝承補助者
委員	山村 順子	当麻町立当麻幼稚園園長
委員	吉本 裕子	横浜市立大学客員研究員

(エ) 選考

- ・一次審査（在宅審査）

実施時期	審査対象作品数	摘要
10月24日（月）～ 11月16日（水）	10作品	審査委員に出品作品（写）を送付し在宅審査を行った。

- ・二次審査（選考委員会）

開催時期	開催場所	協議事項等
11月24日（木）	財団会議室	審査対象作品の選定、二次審査、受賞作品の決定

(オ) 受賞作品

種 類	氏 名	作品名
最優秀賞	小林 大悟	イソポのはなし
入選	中村 葉月	カムイはどこ？
	山崎 由貴	イヨンノッカ アイヌのこもりうた
奨励賞	しまづひさな	わくわくアイヌ

(カ) 絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
イソポのはなし	3月	4,500	全国の図書館、道内の小学校、幼稚園、保育所など

④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

(ア) 札幌会場

- ・開催期間 8月2日（火）～8月9日（火）
- ・開催会場 北海道立道民活動センターかでの2・7[520研修室]（北海道札幌市）
- ・開催内容

日 時	講 座 名	講 師	受講者数
8月 2日（火） 13:30～15:00	「北前船」交易がもたらしたアイヌ文化－北陸の事例を中心として－	戸濶 幹夫 元石川県立歴史博物館学芸主幹	45
8月 2日（火） 15:40～17:10	絵葉書から見るアイヌ民具の地域性－1930年代以降・釧路地域の資料を中心に－	城石 梨奈 釧路市立博物館学芸員	36
8月 3日（水） 13:30～15:00	二風谷での私の育ち	関根 摩耶 アイヌ文化活動アドバイザー	45
8月 3日（水） 15:40～17:10	様似町におけるアイヌ文化	大野 徹人 様似町教育委員会学芸員補	40
8月 4日（木） 13:30～15:00	考古学から見えてきたアイヌ民族の精神文化と交易の歴史－北海道厚真町の遺跡発掘調査成果－	乾 哲也 厚真町教育委員会学芸員	35
8月 4日（木） 15:40～17:10	フチからの伝言	宇佐 照代 AYNU RUTOMTE代表	中止
8月 5日（金） 13:30～15:00	近代の記録にみる平取コタンの暮らし－明治後半代を主として－	長田 佳宏 平取町立二風谷アイヌ文化博物館館長	42
8月 5日（金） 15:40～17:10	木彫り熊の発祥と歴史的経緯について	大谷 茂之 八雲町郷土資料館・木彫り熊資料館学芸員	34
8月 8日（月） 18:30～20:00	アイヌ・アートの力－現代社会への問い－	池田 忍 千葉大学大学院人文科学研究院教授	28

日 時	講 座 名	講 師	受講者数
8月 9日 (火) 18:30~20:00	アイヌ文化を支える植物ー北海道の草木はいまどうなっているか?ー	持田 誠 浦幌町立博物館学芸員	22

・8月 4日 (木) 15:40~17:10開催予定の講座は諸事情により中止

(イ) 東京会場

- ・開催期間 8月23日 (火) ~8月31日 (水)
- ・開催会場 アイヌ文化交流センター[会議室] (東京都中央区)
- ・開催内容

日 時	講 座 名	講 師	受講者数
8月23日 (火) 13:30~15:00	近代の記録にみる平取コタンの暮らしー明治後半代を主としてー	長田 佳宏 平取町立二風谷アイヌ文化博物館館長	18
8月23日 (火) 15:40~17:10	「北前船」交易がもたらしたアイヌ文化ー北陸の事例を中心としてー	戸潤 幹夫 元石川県立歴史博物館学芸主幹	19
8月24日 (水) 13:30~15:00	アイヌ文化を支える植物ー北海道の草木はいまどうなっているか?ー	持田 誠 浦幌町立博物館学芸員	中止
8月24日 (水) 15:40~17:10	アイヌ・アートの力ー現代社会への問いー	池田 忍 千葉大学大学院人文科学研究院教授	17
8月25日 (木) 13:30~15:00	考古学から見えてきたアイヌ民族の精神文化と交易の歴史ー北海道厚真町の遺跡発掘調査成果ー	乾 哲也 厚真町教育委員会学芸員	22
8月25日 (木) 15:40~17:10	江戸時代の近江と蝦夷地ー滋賀大学経済学部附属史料館の収蔵資料に見るー	青柳 周一 滋賀大学経済学部教授	18
8月26日 (金) 13:30~15:00	二風谷での私の育ち	関根 摩耶 アイヌ文化活動アドバイザー	中止
8月26日 (金) 15:40~17:10	木彫り熊の発祥と歴史的経緯について	大谷 茂之 八雲町郷土資料館・木彫り熊資料館学芸員	14
8月30日 (火) 18:30~20:00	絵葉書から見るアイヌ民具の地域性ー1930年代以降・釧路地域の資料を中心にー	城石 梨奈 釧路市立博物館学芸員	20
8月31日 (水) 18:30~20:00	フチからの伝言	宇佐 照代 AYNU RUTOMTE代表	17

・8月24日 (水) 13:30~15:00及び8月26日 (金) 13:30~15:00開催予定の講座は諸事情により中止

⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演 題	講 師	来場者数
6月11日（土） 青森県青森市	アイヌ文化と縄文文化の関係を考える	大島 直行 札幌医科大学客員教授	639
8月20日（土） 福井県福井市	アイヌ文化「復興」の今日的諸相とこれから～北海道、平取町二風谷地域を中心に～	吉原 秀喜 アイヌ施策推進課IWOR構 想担当学芸員	396
12月24日（土） 北海道札幌市	共生ってなんだろう	原田公久枝 アイヌ文化活動アドバイ ザー/フンベシスターズ	624

⑥ イランカラプテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラプテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

(7) キャンペーンの展開

アイヌの歴史や文化に関する情報、アイヌ文化関連資料等を組み合わせた展示パッケージを制作し、PR効果が高い首都圏等の展示スペースを巡回し、アイヌ文化等の普及啓発を図った。

開催期間	開催場所	来場者数	展示パッケージ
2月18日（土） ～2月19日（日）	KITTE名古屋・イベントスペース 愛知県名古屋市	2,502	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸品展示 ・楽器演奏 ・民族衣装試着体験 ・ワークショップ ・エント茶試飲 など
2月25日（土） ～2月26日（日）	なんばCITY・ガレリアコート 大阪府大阪市	2,433	
3月 4日（土） ～3月 5日（日）	アリオ川口・センターコート 埼玉県川口市	2,227	

(イ) 空港展示（常設）

空港名	一般公開開始日	直近の展示替え	展示品（3月31日現在）
釧路空港	平成25年 12月20日（金）	令和 5年 3月 2日（木）	計 5点 木綿衣、テクンペ（手甲）など
函館空港	平成26年 8月27日（水）	令和 4年 3月17日（木）	計15点 木綿衣、チシポ（針入）など
帯広空港	平成28年 3月24日（木）	令和 4年 12月20日（火）	計 3点 木綿衣、タラ（荷縄）、 サラニブ（編み袋）
旭川空港	平成30年 12月 1日（土）	令和 4年 11月29日（火）	計 1点 木綿衣

(ウ) 啓発パンフレットの作成・配布

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
ふれてみようアイヌ文化	2月	40,000	アイヌ関係団体、美術館、博物館、観光協会、道の駅など

(エ) 札幌駅におけるアイヌ文化情報発信

JR札幌駅西コンコース北口にある「北海道さっぽろ（食と観光）情報館」内にアイヌ文化情報発信コーナーを設置した。ディスプレイを用いた道内アイヌ関連施設情報の常時上映、アイヌ工芸作品の常設展示、アイヌ関連イベントなどの情報発信を実施した。

施設名	一般公開開始日	直近の展示替え	展示品（3月31日現在）
札幌駅	令和 3年 3月1日（月）	令和 5年 1月24日（火）	計 3点 アットウシ(樹皮衣)など

(オ) オンライン配信

アイヌ文化普及啓発セミナーの収録映像を活用し、キャンペーンの一環としてインターネット配信を実施した。

- ・ 受講受付期間 10月12日（水）～10月26日（水）
- ・ 配信期間 11月 8日（火）～11月22日（火）
- ・ 配信内容

講座名	講師	受講者数
江戸時代の近江と蝦夷地－滋賀大学経済学部附属史料館の収蔵資料に見る－	青柳 周一 滋賀大学経済学部教授	43
考古学から見えてきたアイヌ民族の精神文化と交易の歴史－北海道厚真町の遺跡発掘調査成果－	乾 哲也 厚真町教育委員会学芸員	41
様似町におけるアイヌ文化	大野 徹人 様似町教育委員会学芸員補	36
木彫り熊の発祥と歴史的経緯について	大谷 茂之 八雲町郷土資料館・木彫り熊資料館学芸員	48
近代の記録にみる平取コタンの暮らし－明治後半代を主として－	長田 佳宏 平取町立二風谷アイヌ文化博物館館長	39
絵葉書から見るアイヌ民具の地域性－1930年代以降・釧路地域の資料を中心に－	城石 梨奈 釧路市立博物館学芸員	36
アイヌ文化を支える植物－北海道の草木はいまどうなっているか？－	持田 誠 浦幌町立博物館学芸員	53

2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営する。

① 常設展示の実施

② アイヌ関係図書や映像資料の閲覧（3月31日現在）

種別	購入数	寄贈数	総数	備考
図書	15	30	5,774	
映像	0	1	526	DVD438 本含む

③ イランカラブテ・アイヌ文化体験講座

開催日	開催場所	講座種別	講師	受講者数	受講対象者
11月11日（金）	アイヌ文化交流センター	舞踊	宇佐恵美 有里明日香	8	一般
11月25日（金）	アイヌ文化交流センター	舞踊	宇佐恵美 有里明日香	9	一般
12月 9日（金）	アイヌ文化交流センター	刺繍	宇佐照代	7	一般
12月23日（金）	アイヌ文化交流センター	刺繍	宇佐照代	9	一般
1月27日（金）	アイヌ文化交流センター	刺繍	島田あけみ	9	一般

開催日	開催場所	講座種別	講 師	受講者数	受講対象者
2月10日(金)	アイヌ文化交流センター	刺繍	島田あけみ	10	一般

④ 交流センター利用者 (3月31日現在)

区 分	利用者数	対前年比
アイヌ関係者	946	364
一 般	2,410	827
合 計	3,356	1,191

V アイヌ文化の伝承者育成

1 アイヌ文化の伝承者育成事業

伝承者育成事業

アイヌ文化における様々な技術や言語等を総合的又は分野別に身につけそれらを伝承する者の育成を図った。

① 昼間型

アイヌ文化に関する知識や技術・技能を身につけ、実施地域のニーズを踏まえて策定した伝承者育成プログラムにより、地域のアイヌ文化を根底から支える人材(伝承者)の育成を図った。

区 分	事業内容等	開催期間
5期生 3年目	・受講者 4名 ・受講日数 224日 ・講義及び実習 ・専門コースの実施	4月1日(金)～3月9日(木)

② 夜間型

アイヌ文化に関する知識や技術・技能を身につけ、特定分野に関する高度な知識・技術・技能の修得を行い、地域のアイヌ文化を根底から支える人材(伝承者)の育成を図った。

区 分	事業内容等	開催期間
アットウシ (着物)	・受講者 4名 ・受講日数 48日 ・講義及び実習	4月6日(水)～2月8日(水)
アットウシ (反物)	・受講者 4名 ・受講日数 48日 ・講義及び実習	6月1日(水)～3月15日(水)
イタ (盆)	・受講者 4名 ・受講日数 24日 ・講義及び実習	8月10日(水)～2月6日(月)

VI 民族共生象徴空間運営事業

1 民族共生象徴空間運営管理事業等

① 国立民族共生公園等管理業務

(7) 目的

国立民族共生公園は、アイヌの歴史、文化等に関する展示及び調査研究並びにアイヌ文化の伝承、そのための人材育成、体験交流、情報発信及び豊かな自然を活用した憩いの場の提供、その他の取組を通じてアイヌ文化の復興に関する我が国における中核的な役割を担うこととされている。こうした設立趣旨に基づき、伝統芸能の上演、体験交流プログラムの実施、来場者サービスの提供、広報・誘客促進など、ウポポイの管理運営に必要な業務を国土交通省から受託し実施した。

- ・入場者数 令和4年度 369,038人
(令和3年度 190,618人)

(4) 事業内容

(a) 伝統芸能の上演及び体験交流プログラムの提供

<プログラムの運営企画・実施>

体験交流プログラムの提供を新型コロナウイルス感染防止に留意しつつ実施した。体験プログラムの実績及び来場者アンケート等を踏まえ、各プログラムの見直し及び新プログラムを実施した。

- ・体験交流ホールのほか、チキサニ広場及びコタン前広場で伝統的な舞踊、歌、楽器演奏等を上演した。
- ・体験学習館でムックリ演奏及び製作体験、アイヌ料理実食及び調理体験、キッズプログラム、アイヌ語プログラム等を実施した。
- ・伝統的コタンで口承文芸実演、丸木舟操作実演・解説等を実施した。
- ・工房でアイヌ文様刺繍体験、アイヌ文様木彫体験等を実施した。
- ・ファミリー層や道外からの誘客の見込まれるゴールデンウィーク、夏休み、シルバーウィーク、冬休みの時期にイベントウィークとして園内での特別プログラムを実施した。
- ・「教育・文化週間」の趣旨を踏まえ、文化の日である11月3日をアイヌ文化により多くの方にふれ、学んでもらうために無料開放とし、園内においてアイヌアートショーを実施した。

<伝統工芸家等の招へいによる技術の実演>

アイヌ文化の伝承活動と理解促進のため、各地域の伝統技術伝承者を招へいし、工房において製作技術の実演公開を行った。

<保存会による古式舞踊披露及びモニター事業の実施>

アイヌの伝統及びアイヌ文化の理解促進を図るため、各地でアイヌ古式舞踊を伝承

している保存会を招へいし、体験交流ホールのほか、チキサニ広場で舞踊等を披露及び発信した。また、今後のウポポイの効果的な運営の基礎資料とするため、アイヌ文化伝承活動を実践する団体を招へいし、モニターとして意見を聴取した。

<夜間プログラムの運営>

- ・体験交流ホールの外壁等を活用したプロジェクションマッピング及びLEDオブジェショーを実施した。
- ・冬期間の特別夜間プログラムとしてドローンショーを実施した。

<体験交流ホールの運営>

体験交流ホールにおける映像・音響及び照明機材について、演目の演出に応じた操作を行った。また、機材のメンテナンスを適時に実施した。

<休憩スペース等設置>

来場者が園内において快適に滞在できるよう、テント、休憩所、仮設トイレ等を設置した。

(b) 来場者に対する園内サービスの提供

- ・エントランス棟にキッズコーナーを設け、小さな子ども連れのファミリー層が休憩できる場所を設けた。
- ・利用者の園内移動の利便性の向上とウポポイ来園の満足度の向上のため、園内モビリティの導入に向けた実証実験を行い、歩行者への影響、園内ルートの検証及び具体的な運用方法等の確認・検証を行った。

(c) 広報活動及び誘客促進

アイヌ文化の普及啓発、国民理解の促進のため、年間来場者100万人を目指し、一層の認知度向上及び誘客促進を目的とした広報、誘客活動等を実施した。

- ・ウポポイホームページについて、内容の充実及びユーザビリティの向上を図るとともに季節に応じた適時の更新を実施した。また、FacebookなどのSNSを活用し、ウポポイの見どころやイベント等を適時に発信した。
- ・新聞、雑誌等の出版物におけるウポポイ紹介記事及びラジオ局が企画する番組への出演協力等を通じ、ウポポイの認知度向上及びPRに努めた。
- ・引き続き旅行会社との観光クーポン契約を行った。
- ・教育旅行催行の旅行事業者等に対し、見学可能な施設等をウポポイ側から提案、調整するなど、学校等教育機関の積極的受け入れ及び満足度向上に努めた。
- ・旅行事業者に対しファミツアーを実施し、一般及び教育旅行の商品造成への意欲の向上に努めた。また、海外インフルエンサー、メディアのファミトリップを実施し、インバウンド誘客のためのweb記事、動画、SNS投稿を行った
- ・冬期の誘客対策として、旅行事象者に対する旅行商品造成のための募集を行った。

(d) 来場者の安全と安心の確保

開業前に、防火・防災等危機管理計画及び防災消防訓練の説明会、地震・津波を想定した防災訓練及び白老消防署の指導による救命講習を実施した。

(e) 施設維持管理

良好な状態で施設を維持管理していくため、国立民族共生公園、慰霊施設及び管理運営施設の建物・設備管理業務、警備・巡視業務、清掃業務、廃棄物処理業務、除雪業務、利用・案内業務及び植物管理業務を委託した。併せて、新型コロナウイルス感染防止対策として、サーモグラフィ、検温所等を設置したことを踏まえ、これに付随する誘導及び監視等の業務を委託した。

② 国立アイヌ民族博物館管理業務

国立アイヌ民族博物館は先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展につなげる。また、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の累次の改訂を踏まえた対策を行いつつ、展示の企画、調査・研究業務の企画資料調査、教育普及など、博物館の管理運営に必要な以下の業務を文化庁から受託し実施した。

(7) 調査研究・交流

(a) 調査研究事業の企画・立案

- ・アイヌの歴史と文化及び博物館機能強化に関する調査研究事業(基幹研究 8 件、個別研究 1 件、成果発表支援 9 件)を実施した。

(b) 「アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク（愛称ブンカラ）」の運営

- ・会員機関の所属職員を対象としたアイヌの歴史・文化や資料の取扱等に関する研修会の開催(11 月、70 名参加)や会報の発行等を行った。また、会員館が 2 館増え 61 機関となった。

(c) 協定機関等との連携協力、シンポジウム等の企画等

- ・北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの共催連続シンポジウムの開催に向けた共同勉強会(7 月、8 月、12 月)開催や、札幌大学に連携協定に基づき講師派遣を行った。
- ・苫小牧市との覚書に基づき寄託された丸木舟の資料保存作業及び 3D 計測等を実施した。
- ・東京国立博物館との間に同館所蔵のアイヌ関連資料の調査研究に関する覚書を締結した。

(d) 国内の研究集会（シンポジウム）の企画・開催

- ・第 5 回特別展示「イコロ ウエカリレ ― アイヌ資料をコレクションする ―」の関連するシンポジウムを 11 月に開催した。
- ・北海道大学低温科学研究所 ArCS II プロジェクト沿岸環境課題との共催でコラボイベント「毛皮と北方民族の多彩な関係」を開催した。

(f) ニュースレターの発行、研究報告書の刊行の実施

- ・国立アイヌ民族博物館ニュースレター「アヌアヌ」(年4回)、研究紀要(第1号)、年報(2020(令和2)年度を発行し、関係機関等への送付とオンライン公開を実施した。

(g) レファレンス業務

- ・利用者からの問合せ(以下、レファレンス)約180件分を対応した。

(h) 研究成果の社会発信

内 容	件 数	備 考
論文	19件	査読有12、査読無7
寄稿、解説等	29件	
学会発表	21件	国外8、国内13
講演会、講義	33件	

(i) 科学研究費補助金の獲得に向けた体制構築の実施

- ・当財団における公的研究費の管理・監査および研究活動における不正行為への対応等に関する規程・要領について周知し、日本学術振興会による研究 e ラーニングコースを受講した。

(j) インターンシップ受入体制の整備

- ・今年度の受け入れ実績はないが、次年度に向けて検討した。

(イ) 展示企画

(a) 展示替えの企画・立案及びキャプション・グラフィック等の作成等

- ・基本展示室の展示資料について、劣化が懸念される染色資料、紙資料を中心に年度内に6回、313点の展示替えを行うとともに、必要なキャプション等を作成した。

(b) 特別展およびテーマ展の実施

種 別	第2回テーマ展示
主 題	「地域からみたアイヌ文化展 白老コタンの衣服文化」
主 催	国立アイヌ民族博物館
後 援	公益社団法人北海道アイヌ協会、白老町、白老町教育委員会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和4年3月15日(火)～令和4年5月15日(日)[61日間]
観覧料金	無料(ウポポイ入園料のみ)
事業内容	<p>目的：白老コタンにおけるアイヌの衣服文化に焦点を当て、「家系で受け継がれてきた衣服」から「地域で受け継ぐ衣服」への変化を時間軸に沿って2部構成により展示する。着物を中心とした衣類関連資料を通じて、現在の白老コタンに受け継がれてきた衣服をめぐる文化とその歴史について明らかにする。また、白老コタンのエカシやフッチ、関連団体なども紹介することで、地域の文化に関する伝承活動にも注目する。なお、本展は、アイヌ文化の独自性や多様性を地域単位で紹介する当館シリーズ展覧会「地域からみたアイヌ文化展」の第1回開催として位置付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示資料：約70点(当館所蔵資料) ・関連事業：ホリデーイベント ギャラリートーク(4月16日、4月30日、5月7日)、講演会(5月4日)

種 別	第4回特別展示
主 題	「CHIRI MASHIHO 知里真志保 アイヌ語研究にかけた熱意」
主 催	国立アイヌ民族博物館
後 援	北海道、北海道教育委員会、公益社団法人北海道アイヌ協会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和4年6月25日(土)～令和4年8月21日(日) [57日間]
入場者数	9,027名
観覧料金	大人300円 高校生200円 中学生以下無料(ウポポイ入園料は別途)
事業内容	<p>目的：知里真志保は登別市で生まれた言語学者、民族学者。アイヌの口承文芸を書き残した家系に生まれ、姉に知里幸恵(『アイヌ神謡集』岩波文庫)、おばに金成マツ(金田一京助編『ユーカラ集』三省堂)がいる。東京帝国大学を卒業し、樺太庁博物館技術員や北海道大学文学部教授を勤めた。『分類アイヌ語辞典』や『地名アイヌ語小辞典』などを出版した。ほかに口承文芸や、文化的な論文を多く残し、言語学、口承文芸、民族学、歴史学研究など多岐にわたり影響を与えた。没後60年を経てもアイヌ語、アイヌ文化史研究において彼の存在は大きい。アイヌ語やアイヌ口承文芸、アイヌ文化研究で彼に関わりのあった人びとを取り上げ、研究の道のりをたどり、今に受け継がれる研究をふりかえる。</p> <p>出品協力：旭川市博物館、帯広百年記念館、掛川源一郎写真委員会、神奈川大学日本常民文化研究所、公益財団法人千里文化財団、国立民族学博物館、渋沢史料館、仙台藩白老元陣屋資料館、知里幸恵 銀のしづく記念館、弟子屈町図書館、登別アイヌ協会、登別市郷土資料館、北海道大学アイヌ・先住民研究センター、北海道博物館、北海道立図書館、北海道立文学館、北海道立北方民族博物館、幕別町教育委員会、盛岡市先人記念館からの借用資料、及び当館資料</p> <p>展示資料：約210点</p> <p>関連事業：外部講師による講演会、当館研究員及び学芸員によるギャラリートーク、子ども向けのワークショップ、植物観察会など計12回</p>

種 別	第5回特別展示
主 題	「イコロ ウエカリレ アイヌ資料をコレクションする」
主 催	国立アイヌ民族博物館
後 援	北海道、北海道教育委員会、公益社団法人北海道アイヌ協会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和4年9月17日(土)～令和4年11月20日(日) [64日間]
入場者数	17,232名
観覧料金	大人300円 高校生200円 中学生以下無料(ウポポイ入園料は別途)
事業内容	<p>目的：アイヌ資料をコレクションしてきた人物や組織等に焦点を当て、アイヌ民族の文化や歴史をあらわす素材として機能する資料、いわゆる「アイヌ資料」がコレクションされてきた過程を3つに区分しその変遷を展示していく。各時代のコレクターが「アイヌ資料」から何をみてきたのかを明らかにする。また、コレクターが集めたアイヌ・コレクション以外の資料も展示対象とすることで、コレクションされた同時代の動きにも目を向け「アイヌ資料」との相対化を図る。</p> <p>出品協力：九州国立博物館、国立民族学博物館、東京国立博物館、天</p>

	<p>理大学附属天理参考館、東北大学大学院文学研究科、東北大学附属図書館、北海道大学植物園・博物館、北海道大学附属図書館、北海道立文書館、東北歴史博物館、広島県立歴史博物館、石巻市教育委員会、市立函館博物館、根室市教育委員会、松浦武四郎記念館、平取町二風谷アイヌ文化博物館、別海町加賀家文書館、幕別町教育委員会、川村カ子トアイヌ記念館、萱野茂二風谷アイヌ資料館、松浦史料博物館</p> <p>展示点数：約 500 点</p> <p>関連事業：開会記念講演会（9月17日）、講演会（10月1日）、コレクション展シンポジウム（11月5日）、ギャラリートーク（5回）、バックヤードツアー（2回）</p>
--	--

種 別	第3回テーマ展示
主 題	「ウアイヌコロ コタン アカラ 民族共生象徴空間（ウポポイ）のことばと歴史
後 援	公益社団法人北海道アイヌ協会、白老町、白老町教育委員会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和4年12月13日（火）～令和5年2月12日（日）[62日間]
観覧料金	無料(ウポポイ入園料のみ)
事業内容	<p>目的: 国立アイヌ民族博物館を含む民族共生象徴空間(愛称ウポポイ)は、「アイヌ文化を振興するための空間や施設であるだけでなく、我が国の貴重な文化でありながら存続の危機にあるアイヌ文化を復興・発展させる拠点として、また将来に向けて先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴」として位置づけられている。</p> <p>設立に至る歴史的な経緯とともに、所在する場の歴史を展示することによって、ウポポイの意義について紹介。アイヌ語について、当館では第一言語とし、解説文や案内表示などでアイヌ語による表示を行っている。こうした取り組みについて紹介する。第3章で、当館が開館するまでの準備業務について紹介する。こうした展示を通して当館及びウポポイの理解を促進することを目的とする。なお、ウポポイでも国立アイヌ民族博物館の活動を中心に紹介する。</p> <p>出品協力: 白老町からの借用資料、当館及び公益財団法人アイヌ民族文化財団所蔵資料である。</p> <p>展示点数: 約 50 点</p> <p>関連事業: 当館研究員、学芸員、館長によるギャラリートーク、アイヌ語に関するワークショップ、公園側職員による「みんなでウポポ」など計6回</p>

種 別	第4回テーマ展示
主 題	「地域からみたアイヌ文化展 アカント ウン コタン 阿寒湖畔のアイヌ文化」
後 援	(公社)北海道アイヌ協会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和5年3月14日（火）～令和5年5月14日（日）[62日間]
観覧料金	無料(ウポポイ入園料のみ)
事業内容	<p>目的: 阿寒湖畔周辺におけるアイヌ文化に焦点を当て「工芸」、「芸能」、「ことば」、「観光」、「歴史」、「共に歩む人たち」の6つのテーマに分けて展示する。この展示により、阿寒湖畔のアイヌ文化の概要を紹介す</p>

	<p>ることで、各地のアイヌ文化の違いの理解を促進する。なお、本テーマ展示は、アイヌ文化の独自性や多様性を地域単位で紹介していく、当館シリーズ展覧会「地域からみたアイヌ文化展」として位置付ける。</p> <p>出品協力：阿寒アイヌ協会、阿寒アイヌ工芸協同組合、阿寒アイヌ民族文化保存会、一般社団法人阿寒アイヌコンサルン、環境省阿寒摩周国立公園管理事務所、釧路市阿寒湖アイヌ施策推進室、釧路市産業振興部阿寒観光振興課、釧路市中央図書館、阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社、一般財団法人前田一歩園財団、NPO 法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、鶴雅ホールディングス株式会社</p> <p>展示点数：約 140 点</p> <p>関連事業：トークイベント（4月1日、2日、5月13日、14日） ギャラリートーク（5月3日、7日）</p>
--	---

・次年度開催する特別展及びテーマ展について、下記のとおり計画した。

○第6回特別展示「アウタリオピッタ アイヌ文学の近代 バチラー八重子、違星北斗、森竹竹市」→ 令和5年6月24日（土）から令和5年8月20日（日）まで57日間

○第7回特別展示 「アイヌ史展 文化からみる」(仮) → 令和5年9月16日(土)から令和5年11月19日(日)まで64日間

○第5回テーマ展示「ウポポイにあるもの」(仮称) → 令和5年12月12日(火)から令和6年2月12日(日)まで62日間

○第6回テーマ展 「マール展」(仮称) → 令和5年12月12日(火)から令和6年2月18日(日)まで68日間

(c) ウィズコロナ時代に対応した博物館の情報発信等に関する企画等

・「バーチャル国立アイヌ民族博物館」(VR)について、当館収蔵資料から10点(家屋模型、靴、小刀等)の3Dモデル展示のオンライン公開を行った。

(d) 多言語化の推進

・「私たちの歴史」「私たちのしごと」「私たちの交流」のグラフィックについて翻訳を再検討し、字句修正など必要な見直しを実施した。

・基本展示室の展示替えに伴うキャプションの翻訳及び、特別展、テーマ展の多言語化(英・中・韓)を行った。

(e) ガイドブック・図録等の企画および編集

・特別展示、テーマ展示のチラシ、ポスターを製作し、国内の博物館等関係機関に送付するとともに、パンフレットを作成して来館者に配布した。

・第3回テーマ展示の関連書籍「ウアイヌコロ コタン アカラ ウポポイのことばと歴史」を刊行した。

(f) 音声ガイド機や携帯アプリの維持・管理や配信及び内容の更新

・音声ガイド機については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、機器の貸出を見合わせた。携帯アプリについては、配信を行うとともに必要な保守管理を行った。

(g) 「国立アイヌ民族博物館におけるアイヌ語表示・展示解説検討委員会」の運営

- ・オンラインシステムを併用しつつ、同委員会を2回、アイヌ語表現・新語検討ワーキング会議1回開催した。また、アイヌ語による執筆者・校閲者会議を計20回実施した。

(ウ) 資料の収集・保管

(a) アイヌ関係資料等の収集のための鑑査会議等の運営

- ・鑑査会議を2回開催(5月、12月)し、受入可とされたアイヌ関係資料については買取協議会の開催等必要な手続きを経て列品への受入を行った。

(b) 列品等の整備及び収蔵環境下における列品等の適切な管理

- ・列品、寄託品のクリーニング作業(145点)や買取資料、図書等について薬剤燻蒸等生物処理を実施した。

(c) 列品等の修理計画の作成、修理の実施

- ・劣化が進み修理の緊急性の高い絵画資料(2点)の本格修理を行うため、外部有識者も参加する列品等修理請負候補者選定委員会において、修理計画等の審査及び業者選定を行った。

(d) 列品等の資料整理及び収蔵品管理システムへの登録・外部公開等管理

- ・旧(一財)アイヌ民族博物館の資料と平成27年度から前年度までの文化庁購入資料についてシステムへの登録作業を行うとともに、一部データの外部公開を行った。

資料登録件数(R5.3.31現在)	11,958件
資料更新件数	8,204件
画像登録件数	7,839件
音声登録件数	14件

(e) 列品等の特別観覧及び資料等の画像利用への対応

- ・下記のとおり外部からの特別観覧及び画像利用への対応を行った。

列品等の特別観覧の許可(外部)	7件	25点
資料等の画像利用の許可件数(外部)	32件	69点
内部での特別観覧件数	50件	1,745点
内部での画像利用件数	18件	51点

(f) 列品等の貸出

- ・外部の者への列品等の貸出実績は4件50点であった。

(g) 科学分析機器等の適切な運用、保守管理

- ・当館設置の科学分析機器等を使用して列品や借用資料等に関する調査研究、展示、保存等に必要分析等を行うとともに、プンカラの会員館(苫小牧市美術博物館、恵庭市郷土資料館)と共同で資料分析、3D計測等を実施した。
- ・定期メンテナンスの実施等、常に当該装置の性能が発揮できるよう保守管理を行った。

(h) 文化財資料の収蔵環境整備(IPM、燻蒸含む)に関する計画の作成、環境整備の実施

- ・収蔵庫内及び展示室/展示ケース内の空気汚染物質の測定や温湿度制御の実施、害虫トラップの設置による虫菌害の監視など、収蔵環境整備を適切に実施するとともに、当

館収蔵庫内の IPM メンテナンスを実施した。

(I) 教育普及

(a) 博物館における社会教育事業(講演会、講座、研修、ギャラリートーク、ワークショップ等)及び博学連携の教育事業(出前授業・遠隔授業等)の企画・立案及び実施

- ・下記のとおり社会教育事業等を実施した。

実施事業	回数・参加者数等	備考
社会人研修等	14 団体 373 名	社会人、教育委員会等
ギャラリートーク	2,657 組 5,613 名	「かわりにテンパテンパ」 「touch itak」
ホリデーイベント	47 回 1,504 人	工作型、講演型、ガイド型等
遠隔授業の実施	中学校 1 校、高校 1 校	幌延中、常盤木学園高校
その他出張イベント	1 件	子ども霞が関見学デーへの参加

- ・基本展示室内の小学生向けワークシートを開発した(令和 5 年 4 月より運用開始)。
- ・学校からの要請に応じ、職場体験学習の受入や高校改革関連事業への参画等行う事業への協力

(b) 北海道アイヌ協会との協定に基づく技術研修者の受入及び技術研修の実施

- ・協定に基づく技術研修者の受入については、参加者が定員に満たないため中止となった。
- ・令和 5 年 4 月から 2 年間の予定で「アイヌ民族に対する研修事業展示資料(アイヌ衣服)複製事業」を企画し、参加者の募集を行った(定員 2 名)。

(c) 学芸員を目指す学生に対する博物館実習の受入に向けた、実習実施計画の検討・作成

- ・次年度以降の受入開始に向けて、実施体制やカリキュラムの検討等を行った。

(d) 教育旅行等向け教育プログラムの企画・立案、実施及びプログラムの改善

- ・学校団体向けプログラム「はじめてのアイヌ博」について、内容の見直し・改善を行うとともに、小・中・高等学校等 168 校、172 回、引率含め 11,717 名に対し実施した。また、学年に合わせた対応として、小学校低学年向けのプログラムを開発した。

(e) 学校の授業で使うアイヌの歴史と文化に関する学習教材の開発

- ・小・中・高の社会科授業においてアイヌの歴史や文化への理解がより深まるよう動画教材を開発し、令和 5 年 4 月から授業指導案や学校での活用指導事例と共に専用 Web サイトから配信を開始した。

(f) 教員や公務員を対象としたアイヌの歴史・文化に関する研修の企画及び協力

- ・教員向け研修会として「教員のための博物館の日 at 国立アイヌ民族博物館」を会場とオンラインで 8 月 1 日に開催した(参加人数：会場参加 18 名、オンライン参加 8 名)。

(II) 博物館施設管理

(a) アイヌ資料及び図書文献資料の収集

- ・アイヌ資料については 78 件/129 点、図書文献資料については購入 1406 冊、寄贈 894 冊を受け入れた。

(b) ライブラリの運営

- ・特別展示・テーマ展示の会期に合わせた展覧会特設コーナーの設置やライブラリ小展示の実施、図書館間相互利用（ILL）文献複写等料金相殺サービスへの加入等の機能向上を図り、9,849名が利用した。
- ・大学図書館ソリューション（iLiswave-J）への図書登録作業を行い、今年度で約5,000冊の登録が完了し、総蔵書数が約28,000冊となった。

(c) 博物館運営に必要な設備備品の購入

- ・X線CT用ターンテーブルや展示備品（文書複製）等、博物館運営に必要な設備備品の購入を行った。

(d) 博物館に関する広報活動の企画立案、広報媒体の作成及び展開

- ・ウポポイ誘客促進事業を通じて博物館の情報発信・広報活動を行うとともに、新聞コラムでの関連記事掲載や、TV等マスコミ等の取材協力等を通じた広報活動を展開した。
- ・特別展、テーマ展開催に際し広報計画を作成し、プレスリリースやマスコミ向け内覧会の実施、ポスター・チラシ等の配布、新聞広告、ホームページ上で広報等を行った。

(e) 館内LAN等情報機器の運用及び保守管理

- ・昨年度に引き続き、セキュリティ対策等の環境整備及び保守管理を行うとともに、当館職員による情報セキュリティ委員会を開催し、各職員による情報漏えい対策も行った。

(f) 博物館施設の維持管理（施設設備管理、警備、清掃、廃棄物処理等）の実施

- ・昨年度に引き続き、博物館施設を良好な状態で維持管理するため、建物設備等の点検、24時間常駐による警備、館内各所の清掃、廃棄物処理等を適切に実施した。

(g) 来館者対応業務（受付・案内、音声ガイド貸出・回収、監視、混雑時の誘導等）の実施

- ・昨年度に引き続き、博物館内各所（入口、受付カウンター、シアター、基本展示室・特別展示室、ライブラリなど）に必要な要員を配置し、来館者への接客対応や案内等を行った。
- ・来館者案内をサポートするため、点示付きの触知案内板を3台設置した。

(h) ウポポイにおけるアイヌ語体験プログラムの実施

- ・プログラムの見直し等を行い、従来の体験プログラム（日常で使えるアイヌ語の1フレーズを学ぶ「アイヌ イタカリ アイェ ロ！」、ビンゴで遊びながら楽しく単語を学ぶ「ピリカ！ ビンゴ アキ ロ！」）のほか、新たに口承文芸実演プログラムをポロチセで実施した。

③ アイヌ語アーカイブ事業

(ア) アイヌ語のアーカイブ作成事業

- ・旧アイヌ民族博物館が採録した3人の伝承者のアイヌ語音声資料計146時間についてアーカイブ作成を実施した。
- ・アイヌ語辞書等のオンライン公開について、知里真志保『分類アイヌ語辞典 人間編』等を追加した。

- ・指導監修者・協力者5名に委員を委嘱し、企画運営会議を1回開催した。

(イ) アイヌ語アーカイブ作成推進のための人材育成

- ・人材育成用アイヌ語アーカイブシステム構築については、自然図鑑等の関連コンテンツ・データベースの整理統合及び再構築を行った。
- ・マニュアル作成と会員の利用支援については、平取町、札幌市の若手学習者3名を対象として研修を実施し、音声資料143時間分のアーカイブ作成を実習した。
- ・令和4年度アイヌ語アーカイブ研究会 in 二風谷を一泊二日の日程で開催し、アイヌ語研究者・学習者等のべ87名が参加したほか、後日関係者向けに録画配信を実施し、51名が視聴した。

2 民族共生象徴空間収益事業

① テナント管理事業

(7) 目的

来場者に対して、飲食・物販の基本的サービスに加えて、アイヌの伝統的料理や伝統工芸品などを販売するために、テナント管理を実施した。

(イ) 事業内容

テナントの管理

- ・飲食4店舗及び物販2店舗に関し、売上管理、テナント指導（衛生管理、商品管理、利用者サービス）等を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、来場者の誘導、什器の消毒等を協働して実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う来場者数減少を踏まえ、賃料減免等のテナント支援を実施した。

② 駐車場事業

(7) 目的

車で来場する方のために、園内第1駐車場、園外第2駐車場及び慰霊施設駐車場の維持管理を実施した。

(イ) 事業内容

(a) 駐車場の維持管理

自動ゲート等の設備の維持管理を行うとともに、必要な警備員を配置し、来場車両の誘導整理を実施した。

(b) 駐車場料金の徴収

自動ゲート及び園内事前精算機により、駐車場利用者からの料金徴収を実施した。なお、慰霊施設駐車場については、国等の意見を踏まえ、尊厳のある慰霊の実現という本来目的及び来場者の利便性を勘案し、令和3年12月より無料とした。

③ その他事業

(7) 目的

コインロッカーや自動販売機を設置し、来場者にサービスを提供した。また、ケータリングカー等を配置し、飲食を提供した。

(i) 事業内容

(a) コインロッカーの設置

エントランス棟にコインロッカーを設置し、来場者の利用に供した。また、エントランス棟総合案内において手荷物預かりサービスを実施した。

(b) 自動販売機の設置

園内6箇所に自動販売機を設置し、来場者の利用に供した。

(c) 収蔵品等の画像使用

規程を整備し、列品等を来場者の特別観覧に供した。

(d) バナー広告

規程を整備し、ウポポイ公式HPへの民間企業等の広告掲載を受け付けた。

(e) ケータリングカー等の配置

登録・出店に係る要領を定め、園内適所にケータリングカー等を配置し、来場者の利用に供した。特に、集客が見込まれるイベントウィークには、ケータリングカーを配置するとともに、9月のシルバーウィークには、ウポポイ初のキッチンカーフェスを実施した。

第4 賛助会員の状況

区 分	入会者数	退会者数	現 在 数	備 考
個人会員	26	11	124	アイヌ文化普及啓発資料として、 カレンダーを作成
法人会員	2	1	10	
合 計	28	12	134	

第5 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。

2023（令和5）6年22月

公益財団法人 アイヌ民族文化財団